

## 1年間の講座などの成果を発表

### 第30回東部町民センター発表会

講座生などによる学習の成果が2月9日、東部町民センターで発表され、大勢の人でにぎわいました。

ステージの部では、歌や踊り、演奏、なかよし園児や小中学生の学習の成果が披露されました。展示の部では、書道・絵手紙・小学生英語教室の作品の素晴らしい出来映えに参加者も足を止めて感心していました。ふれあい劇団は、詐欺商法の予防と地域で支え合う大切さをテーマにした劇「お・し・だ・そう」を演じ、恒例のお楽しみ抽選会も大変好評でした。



◀心を込めて丁寧に仕上げられた書道作品

三味線の演奏を披露する講座生

## 地域と共に

### 第9回南部町民センター発表会

第9回南部町民センター講座発表会が1月26日、南部町民センターで開催されました。約400人の参加があり、日頃の学習や練習の成果を発表しました。

展示発表の部では、手工芸や習字など素晴らしい作品が会場いっぱいに並べられました。また、ステージ発表の部では、キッズイングリッシュや健康体操、日舞、歌謡、男性料理のリンゴ皮むき競争などがありました。最後に、ひよっとこ踊りが披露され、終始賑わいを見せた発表会は盛会のうち終了しました。



▲健康体操を披露する講座生 ▲笑顔に包まれる会場

## 広がる思いやりの心

### 茄子の会の図書館へのしおり寄贈に感謝状

「小さな親切」運動本部が1月20日、町内の文化23団体で結成された茄子の会(中村孝幸代表)に中央公民館で感謝状を贈りました。これは、全国読書週間(10月27日～11月9日)に合わせて、菊陽町図書館で本を借りた人に、手作りのしおり780枚を寄贈した功績をたたえてのものです。代表の中村孝幸さんは「会員が心を込めて手作りし、その行動を表彰してもらったことは作成の励みになります。今後も『小さな親切』を継続していきたいです」と喜びを語りました。



▲感謝状を手に喜びの表情を見せる茄子の会会員

## みんなの思いたすきでつないで

### 第31回熊日都市対抗女子駅伝大会

第31回熊日都市対抗女子駅伝大会が1月26日、びっぴれす熊日会館をスタート・ゴール(7区間28.4km)として開催されました。

菊池都市は全体19チーム中8位という結果になりました。菊陽町からは、1区で大野琴音選手(武蔵ヶ丘中1年)、2区で平川明日花選手(武蔵ヶ丘中3年)、4区で大野若葉選手(ルーテル学院2年)が菊池都市代表として出場。温かい声援を原動力に、全選手とも力強い走りを見せていました。



▲力強い走りを見せる武蔵ヶ丘中1年大野琴音選手

## おも 想い出がいっぱい!

### 中沢けんじさん無料ライブ開催

元H<sub>2</sub>Oの中沢けんじさんが1月27日、菊陽町役場を表敬訪問し、中央公民館のロビーで無料ライブを開催しました。

中沢けんじさんは、ライブで「今は縁があって大津町に住んでいます。隣の菊陽町でも活動していきたい」と笑顔で話しました。その後『恋ごころ』や『想い出がいっぱい』、『未来への扉』などを熱唱すると、会場に訪れたファン約50人は手拍子をしながら一緒に歌を口ずさむなど、大変盛り上がりしました。



▲約50人のファンと楽しい時間を過ごす中沢けんじさん

## 精神障がいを正しく理解しよう

### 菊陽町精神保健福祉の集い

菊陽町精神保健福祉の集いが2月7日、菊陽杉並木公園管理センターで行われ、約80人が参加しました。これは、精神障がいへの正しい理解と精神障がいがある人の社会参加の促進を目的に開催されました。

利用者による体験談の発表や障がい者支援事業所の紹介の他、野口法律事務所の野口敏夫弁護士から成年後見制度について分かりやすい講演が行われました。参加者からの質問も多数あり、障がいがある人を地域で支える取り組みについての理解が深まりました。



▲成年後見制度について講演する野口敏夫弁護士

## 互いを認め助け合う

### よかつれフェスタ2014

町・男女共同参画社会推進懇話会・男女共同参画さんさんの会の主催で「よかつれフェスタ2014」～女と男で楽しくいきいき菊陽～が1月25日、図書館ホールで開催されました。町内外から約420人の参加がありました。

オープニングは働く婦人の家のコーラス、リズムダンスで始まりました。懇話会とさんさんの会有志による寸劇「カラスだって頑張るぞ!」では、女性の登用や男性と女性がお互いを認め合い助け合う心の大切さを分かりやすく表現していました。

その後「Theちゃぶ台」の木内里美さんと上田依里子さんによる演劇「とめばあさんのある一日」がありました。木内里美さんが84歳のおばあさんを熱演。楽しく暮らす何気ない一日の中で男女共同参画の大切さを親しみやすい内容で、笑いを交えて表現していました。観客も初めから終わりまで笑いが絶えない様子でステージに見入っており、とても好評でした。

ホワイエでは、さんさんの会で募集した絵手紙と、男女共同参画パネルの展示もありました。



▲懇話会とさんさんの会有志の寸劇「カラスだって頑張るぞ!」



▲会場が笑いに包まれた演劇「とめばあさんのある一日」

## 菊陽産の野菜たっぷり

### 白鈴園「地産地消料理講習会」

菊陽町生活研究グループ員が講師を務める地産地消料理講習会が2月18日、白鈴園の親子を対象にふれあいの森研修センターで行われました。

講習会では、菊陽産の野菜を使った菊池地域の郷土料理のあんもちだご汁を作りました。講習会に参加した親子は「初めて食べたがとてもおいしい」「家でも作ってみたい」と好評でした。親子は協力しながら料理を作り、地産地消の話にもしっかりと耳を傾けていました。



▲講師に教わりながら料理を作る白鈴園の親子

## 歌って踊って楽しい時間

### さきもりころろう君がもみじ園に遊びに来たよ

まきちじょう 鞠智城(山鹿市)のイメージキャラクター「さきもりころろう君」が2月6日、もみじ園に遊びに来ました。

この日を楽しみに待っていたもみじ園の園児と一緒にころろう君体操を踊るように毎日練習してきました。ころろう君が登場すると、園児たちは満面の笑みで歓声を上げて大喜び。一緒にころろう君体操をしたり、クイズに答えたりしました。また、ころろう君がとなりのトトロの主題歌『さんぽ』をピアノで引くと、園児は元気良く歌い、楽しい時間を過ごしました。



▲ころろう君のクイズに元気いっぱい answers 園児

## 地域の力、講座の成果

### 菊陽町公民館大会

菊陽町公民館大会が2月15日・16日、図書館ホールで行われ、大勢の人が来場しました。

琴・尺八の演奏によるオープニングセレモニーで開幕。南部町民センター運営委員長の矢野誠也さんがセンターを拠点とした地域公民館活動として南校区住民が主体的に実施している「鼻ぐり井手祭」の運営などの様子を発表し、ステージでは、7講座が日頃の学習の成果を発表しました。また、たくさんの方がホワイエに展示された素晴らしい作品を鑑賞していました。



◀活動発表を行う矢野誠也さん



歌曲『オー・シャンゼリゼ』に合わせて踊る講座生

## 甘くておいしい町のにんじん

### 菊陽産にんじんジュース試飲会

菊陽町農産加工グループ連絡協議会による菊陽産にんじんジュースの試飲会が2月14日、菊陽町総合交流ターミナルさんふれあいで行われました。

町の特産物にんじんが甘くておいしいことを多くの人に知ってもらうための試飲会。ジュースでジュースにするだけで、とてもおいしく飲むことができ、あらためて町のにんじんの甘さを感じることができます。糖度は約11度。試飲した人からは「今度から家でも作ってみる」との声が上がるほど好評でした。



▲菊陽産にんじんジュースを試飲する親子

## にんじん農家・鎌田夫妻の挑戦実る

### 熊本県農業コンクール新人王部門秀賞受賞

平成25年度熊本県農業コンクール大会の表彰式が2月6日、熊本テルサで開催されました。

本大会には菊池地方(新人王部門)代表で菊陽町にんじん農家の鎌田登さんと妻の結花さん(出分)が推薦されました。厳正な総合審査の結果、見事秀賞と併せて農林水産大臣賞を受賞しました。

露地野菜経営(春にんじん16ヘクタール、冬にんじん8.5ヘクタール)を進める中で、就農してからの作付面積を5倍ほどに拡大したことや積極的な設備投資を行い、見た目が美しく、形がそろっている秀品のみが選出されたオリジナルブランド「美にんじん」の確立、常時雇用を用いることで労働力を確保し、稼げる農業とゆとりある農業の両立に挑戦してきたことが高く評価されました。

「良質なにんじんは良質な土壌から」をモットーにさまざまな工夫を凝らし挑戦し続けている鎌田登さんと結花さん。「今後もより安定した農業経営を確立し、地域雇用の受け皿になるなど、地域農業の活性化に役立つよう頑張ります」と抱負を力強く話しました。



▲表彰状を手に笑顔の鎌田登さんと妻の結花さん



▲努力して「美にんじん」を確立した皆さん

## 園児が食育絵画コンクールで表彰

### 景色の見える食卓づくり推進シンポジウム

菊池地域食農教育推進実行委員会主催の景色の見える食卓づくり推進シンポジウムが1月25日、JA菊池の農業総合情報センターパシオンで開催されました。これは、学校現場の食農教育活動をより意義のあるものにするため、教育・保護者・農業関係者が集まり、さらなる連携強化を図ることを目的に開催されたものです。

シンポジウムでは、食農教育に関する基調講演や菊池郡市内の小学校教諭による事例報告がありました。また、菊陽町の園児たちの食育絵画コンクールの表彰式も行われました。受賞した園児たちは、多くの参加者に見守られる中、緊張しながらも元気良く表彰を受けました。受賞者は次のとおりです(敬称略)。

【実行委員長賞】本田 真優(美鈴幼稚園)

【審査委員長賞】山本 将矢(白鈴園)

【PTA会長賞】村上 陽菜(白鈴園)

【PTA会長賞】池松蒼一郎(白菊園)

【特別賞】南 楓菜(みどり園)

【特別賞】今村 文音(白菊園)



▲応募総数339点の中、受賞した園児たち



本田真優ちゃん

村上陽菜ちゃん

今村文音ちゃん

山本将矢くん

池松蒼一郎くん

南 楓菜ちゃん

▲食育絵画コンクール受賞作品